

## 第 1 回及び第 2 回審議会における主な指摘事項について

分類	指摘事項	考え方及び今後の対応
排出量（家庭系）	区ごとの目標やごみ排出量、減量化率、資源化率等のデータは出ないのか。	<p>○区ごとのごみ排出量、資源化率等につきましては、生活ごみについては事業系の継続ごみと混載されていること、一部区をまたがって収集・搬入している品目があることから、現時点では信頼性のある数値を算定することができず、公表は困難であると考えています。</p> <p>○また、現時点では区ごとの排出量等の実態を正確に把握できていないことから、区ごとの目標の設定も困難であると考えていますが、ご指摘のとおり、区ごとのデータの公表は、市民の意識を高めるための有効な方策の 1 つになり得ることから、信頼性のある数値の公表に向けて、今後検討を進めてまいります。</p> <p>○なお、参考として、平成 24 年度の区ごとの資源化物排出量について、人口比で案分計算した結果をお示しいたします。 (参考資料 1)</p>
組成分析調査結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば家庭ごみの中で、何が増えて何が減っているか等の詳細について、何か手がかりがほしい。</li> <li>・平成 25 年度の組成分析調査の結果を出していただきたい。</li> <li>・組成分析調査の結果について、例えば新聞だけで作成するなど、色々な分析方法があると思うので、検討してほしい。</li> </ul>	<p>○ご指摘を踏まえ、平成 25 年度の組成分析調査の結果も含め、経年変化の分析等を実施しました。 (資料 3 に反映)</p>

分類	指摘事項	考え方及び今後の対応
市民意識調査結果	市民の若い層の分別率が低いという結果について、若い層の分別意識が低いからなのか、住んでいるところの事情によるのかなど、原因を検討する必要がある。	<p>○意識調査結果では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層は民間賃貸アパート等に居住している割合が他の年代に比べて高い。</li> <li>・民間賃貸アパート等、公営住宅、社宅等の居住者は、資源4品目の分別率が低い。</li> <li>・若年層は、分別拡大時の協力意識が他の年代に比べて低い。</li> </ul> <p>○以上より、若年層の分別率が低い原因としては、若年層の協力意識の低さもあるが、居住形態も一定影響していると考えられます。</p> <p>(資料3に反映)</p>
家庭系減量化施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化推進員制度については、会議だけであまり効力を発してないのではないか。</li> <li>・ごみ減量について、目標を定めるなど推進員にどのような意識を持たせるかが重要。</li> </ul>	<p>○ごみ減量化推進員制度については、制度の実運用上の課題等について整理を図っていきます。</p> <p>(資料3に反映)</p> <p>○なお、前述のとおり、区ごとの目標値の設定については現時点では困難であると考えていますが、推進員の意識を高める方策として、区ごとのデータの公表などについて、今後検討を進めてまいります。</p>
	生きごみさんについて、広がりが見えない。生きごみさん以外の効果的な取組は考えているか。	<p>○生きごみさんについては、動機づけとして一定継続したいと考えていますが、臭い等の課題もあり、実体的には全市的な家庭ごみの減量化につながることは困難であると考えています。</p> <p>○組成分析調査の結果では、食べ残し等の生ごみ比率が高いことが確認されているため、これに対する対策について検討が必要であると考えています。</p> <p>(資料3に反映)</p>

分類	指摘事項	考え方及び今後の対応
分別について	これから堺市として古紙の収集とかに力を入れていく施策があるのか。	○古紙類については、集団回収の促進や行政回収の実施も含めて検討していきたいと考えています。 (資料3に反映)
	市民がごみを分類する際に、どういうものが分けにくい原因になっているかなどを吸い上げたりする機会が必要ではないか。	○FAQの充実や便利帳の刷新も含めて、検討を進めていきたいと考えています。 (資料3に反映)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラ容器にシールが付いている場合の取扱いについて、整理してほしい。</li> <li>・周知ができていないのではないか。</li> </ul>	○「簡単にはがれるものはがし、はがすのが困難な場合は付いたままプラスチック製容器包装として出す」ことに統一し、堺市ホームページにおいてその旨周知しました。
排出量（事業系）	事業系の排出量が減少していることについて、事業所件数が景気の影響で減ったなどの要因がないか確認してほしい。市の努力の部分と、事業所が減少したという部分との区別はきちんとしておくこと。	<p>○事業系の減少理由については、啓発効果や景気動向による影響もあると考えられますが。建設リサイクル法の施行や廃棄物処理法の改正による木製パレットの産業廃棄物化による効果が大きいものと考えています。</p> <p>○今後の事業系の減量施策としては、啓発に努めることはもちろんのこと、既存施策の推進や10月から施行する併せ産廃の清掃工場搬入禁止による事業系搬入量減少の推移を見ながら、必要に応じて条例・規則改正などによる追加的な実効性のある対策を検討する必要があると考えています。 (資料3に反映)</p>
リサイクル率	事業所が個別に契約して缶・びん等をリサイクルに回したりした量は、リサイクル率には反映されていないのか。	○参考として、事業系一般廃棄物減量等計画書の実績値を算入した結果をお示しいたします。 (参考資料2)

分類	指摘事項	考え方及び今後の対応
庁内紙類の資源化	庁内の紙の資源化量が余りにも少ない。市民、事業者に啓発するのであれば、行政も資源化を進めていただきたい。	<p>○ご指摘を踏まえ、庁内紙類については機密書類等を除きすべて資源化に回すよう、早急に庁内で周知徹底するとともに、清掃工場での搬入検査を強化し、機密書類以外は持ち帰り資源化するよう徹底しています。</p> <p>○今後とも引き続き、庁内紙類の再資源化を徹底していく必要があると考えています。</p> <p>(資料3に反映)</p>
他市データ・事例等	<p>他市のデータについても出してほしい。</p> <p>政令市それぞれに力を入れている部分を整理したうえで、堺市として何に力を入れていくかを考えていく必要がある。</p> <p>政令市にも色々特徴があるので、堺市に近い特徴のところでのような効果的な施策があるのか、もう少し丁寧に検討が必要。</p> <p>実はうまくいってないけれどもメニューだけ上がっているようなところはあまり参考にしないで、そういう失敗事例は失敗事例として参考にしていきたい。</p>	<p>○1人1日あたりごみ排出量、リサイクル率等の数値的なデータについて、全政令市の比較を行いました。</p> <p>○個別施策を検討していくにあたっては、ごみの排出量やリサイクル率等の指標のほか、堺市との類似性にも配慮して参考とする政令市を抽出し、実際の効果等についても評価検証しながら、今後検討を進めていきます。</p> <p>(資料3に反映)</p>
基本理念・基本方針	国が3R、2Rとなっていていっている中で、堺市はこのまま4Rでいくのか、検討が必要。	<p>○発生抑制が重要であることを強調するため、また、市の関連する上位計画等においても「4R」の考え方が示されており、一定市民に定着していることなどから、次期計画においても4Rの方針を進めたいと考えております。</p> <p>(資料2に反映)</p>